

第 79 回「山形県内企業の景気動向調査」確報

(令和 6 年 5 月調査)

～景況感は 2 期ぶりに改善。先行きは横ばい圏内～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.5（前回調査比 5.4 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」と「資金繰り」は小幅ながら改善、「営業利益」は小幅ながら悪化となり、「人員・人手」はほぼ横ばいとなった。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲29.3（前回調査比 0.8 ポイント上昇）、製造業が▲9.5（前回調査比 6.3 ポイント上昇）、卸・小売業が▲16.8（前回調査比 1.7 ポイント上昇）、サービス業が 14.8（前回調査比 12.2 ポイント上昇）と、すべての業種で改善となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲5.1（前回調査比 7.5 ポイント上昇）、村山北部が▲4.1（前回調査比 4.1 ポイント上昇）、最上が▲17.7（前回調査比 4.6 ポイント下落）、置賜が▲11.8（前回調査比 15.2 ポイント上昇）、庄内田川が▲21.6（前回調査比 3.7 ポイント下落）、庄内飽海が▲5.9（前回調査比 11.2 ポイント上昇）と、村山南部、村山北部、置賜、庄内飽海で改善、最上と庄内田川で悪化となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.2（今回調査比 0.3 ポイント上昇）と ほぼ横ばいで推移する見込みとなっている。

【 特別調査 】

- **夏季ボーナスの支給動向**について尋ねたところ、全業種でみると「支給する」と回答した企業の割合は 62.0%と、前年に比べ 0.9 ポイント上昇し、引き続き 6 割を上回った。
- **春季以降の賃金改定動向**について尋ねたところ、賃上げを実施する（した）企業の割合（「ベア・定昇とも実施」+「ベアのみ実施」+「定昇のみ実施」）は、全業種で 65.5%と前年に比べて 3.8 ポイント上昇し、引き続き 6 割台となった。

令和 6 年 6 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	5
③	卸・小売業	7
④	サービス業	9
3.	地域別の動向	11
(1)	地域別の概況	11
(2)	地域別 D I 値の動向	12
①	村山南部	12
②	村山北部	13
③	最 上	14
④	置 賜	15
⑤	庄内田川	16
⑥	庄内飽海	17
II.	景気の天気予報図	18
III.	特別調査	19
1.	夏季ボーナスについて	19
(1)	支給予定動向	19
(2)	支給予定額	21
2.	春季以降の賃金改定動向について	23
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		24
<参考資料 II : 調査の概要>		24

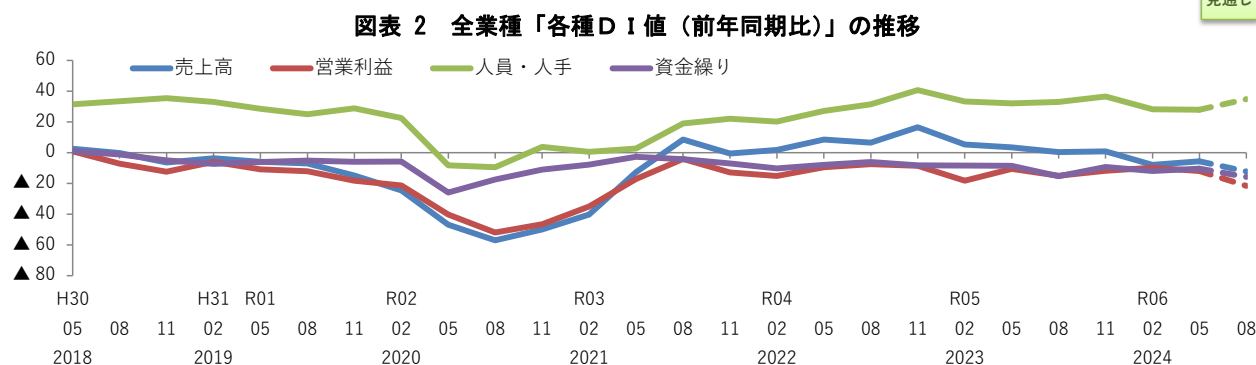
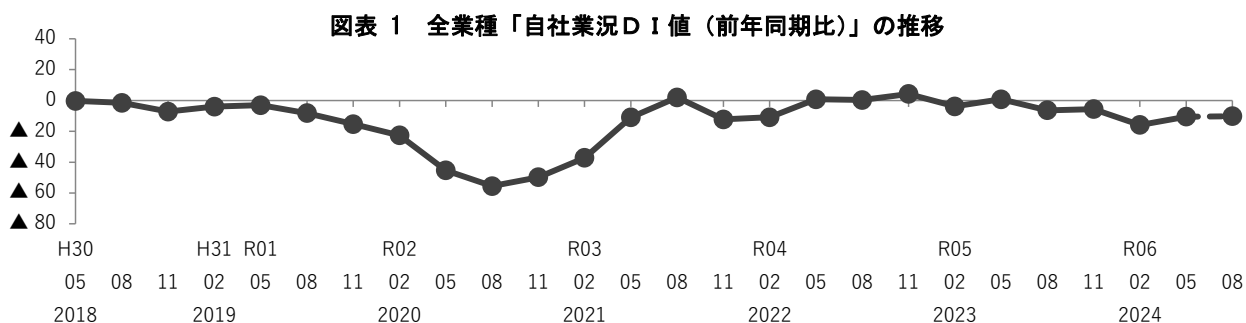
I. 県内企業の業況

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.5（前回調査比 5.4 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」と「資金繰り」は小幅ながら改善、「営業利益」は小幅ながら悪化となり、「人員・人手」はほぼ横ばいとなった。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.2（今回調査比 0.3 ポイント上昇）とほぼ横ばいで推移する見込みとなっている。

サービス業における好調企業の増加や一部で価格転嫁が進んだことなどを背景に業況改善の動きがみられた。しかしながら、総じてみればコスト高による負担感は依然厳しく、業況 D I 値は 4 期連続マイナスで推移しており、景況マインドの持ち直しには停滞感がうかがえる。先行きに関しては警戒感が強く、海外情勢や為替相場の動向を注視しつつ、今後も慎重な見通しが続くと思われる。



前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 05. 05 (n=396)	0.8	(4.6)	▲ 19.2	3.5	▲ 10.6	32.1	▲ 8.5
R 05. 08 (n=373)	▲ 6.4	(▲ 7.2)	▲ 7.1	0.3	▲ 15.0	33.0	▲ 15.3
R 05. 11 (n=356)	▲ 5.6	(0.8)	▲ 6.4	0.8	▲ 11.8	36.5	▲ 9.3
R 06. 02 (n=365)	▲ 15.9	(▲ 10.3)	▲ 13.2	▲ 8.0	▲ 9.8	28.3	▲ 12.0
R 06. 05 (n=374)	▲ 10.5	(5.4)	▲ 15.4	▲ 5.6	▲ 12.0	28.0	▲ 10.4
前回調査比	-	-	-	(2.4)	(▲ 2.2)	(▲ 0.3)	(1.6)
先行き見通し	▲ 10.2	-	-	▲ 12.3	▲ 21.7	34.8	▲ 15.8
今回調査比	(0.3)	-	-	(▲ 6.7)	(▲ 9.7)	(6.8)	(▲ 5.4)

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

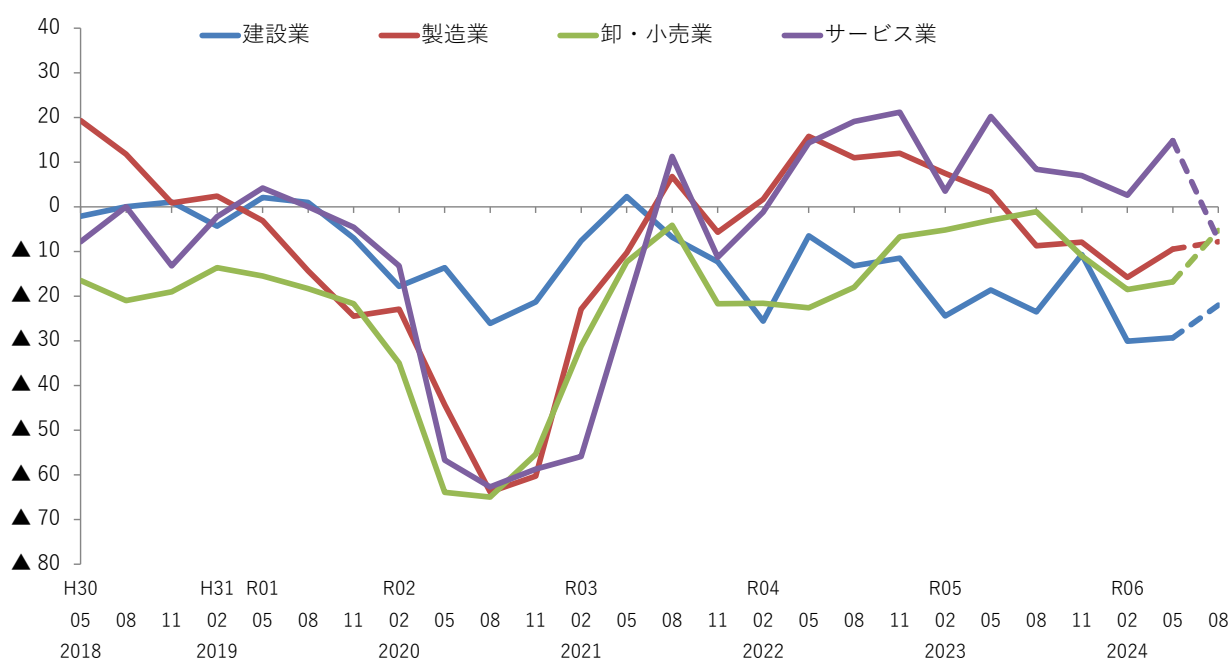
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲29.3（前回調査比 0.8 ポイント上昇）、製造業が▲9.5（前回調査比 6.3 ポイント上昇）、卸・小売業が▲16.8（前回調査比 1.7 ポイント上昇）、サービス業が 14.8（前回調査比 12.2 ポイント上昇）と、すべての業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、建設業、製造業、卸・小売業で改善、サービス業で大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 05 (n=396)	0.8	▲ 18.6	3.3	▲ 3.0	20.2
R 05. 08 (n=373)	▲ 6.4	▲ 23.5	▲ 8.7	▲ 1.1	8.4
R 05. 11 (n=356)	▲ 5.6	▲ 10.7	▲ 7.9	▲ 11.0	7.0
R 06. 02 (n=365)	▲ 15.9	▲ 30.1	▲ 15.8	▲ 18.5	2.6
R 06. 05 (n=374)	▲ 10.5	▲ 29.3	▲ 9.5	▲ 16.8	14.8
前回調査比	(5.4)	(0.8)	(6.3)	(1.7)	(12.2)
先行き見通し	▲ 10.2	▲ 22.0	▲ 7.8	▲ 5.3	▲ 7.4
今回調査比	(0.3)	(7.3)	(1.7)	(11.5)	(▲ 22.2)

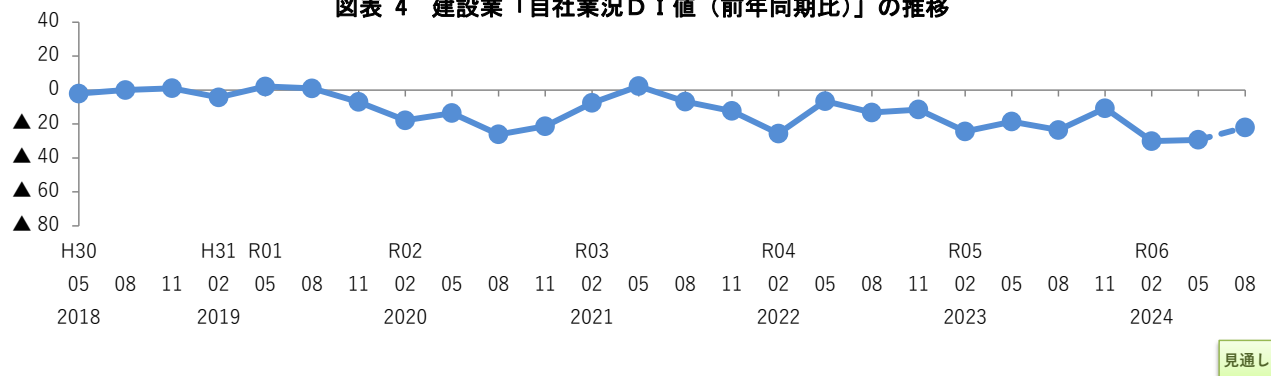
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

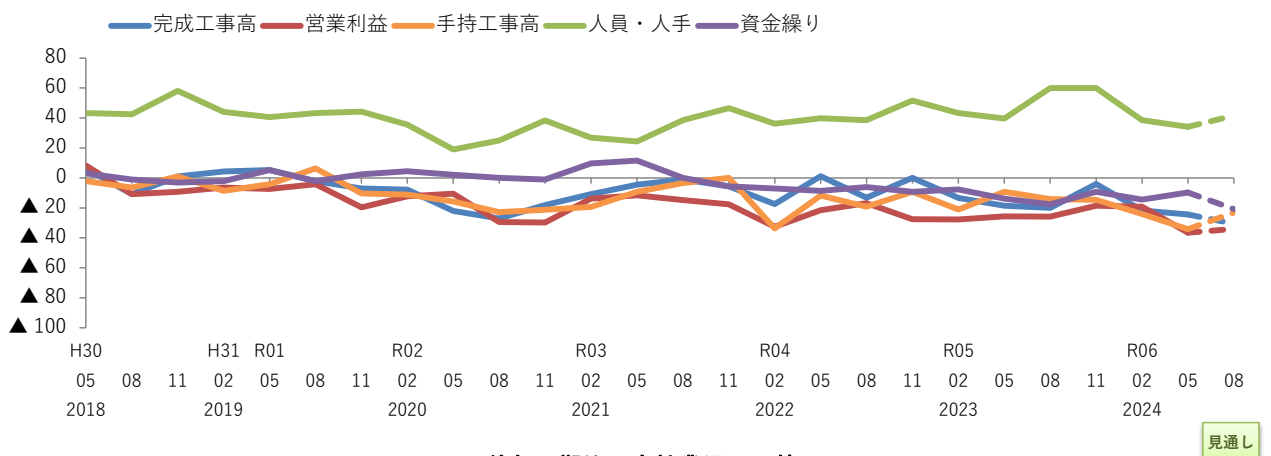
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲29.3（前回調査比 0.8 ポイント上昇）と、前期の後退から小幅ながら改善の動きとなっている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」は改善となったものの、「完成工事高」「営業利益」「手持工事高」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。各社のコメントによると、公共工事、民間工事、ともに減少傾向が続いており、資材高騰に伴う利益率の低下によって経営環境は依然厳しいとみられる。また、今冬は雪が少なく除雪による収益は見込めなかった一方で、工期短縮のメリットがあったとするコメントも寄せられ、暖冬の影響も色濃くうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲22.0（今回調査比 7.3 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 05. 05 (n=86)	▲ 18. 6	(5. 8)	▲ 36. 6	▲ 18. 6	▲ 25. 6	▲ 9. 3	39. 6	▲ 13. 9
R 05. 08 (n=85)	▲ 23. 5	(▲ 4. 9)	▲ 26. 7	▲ 20. 0	▲ 25. 8	▲ 14. 1	60. 0	▲ 17. 6
R 05. 11 (n=75)	▲ 10. 7	(12. 8)	▲ 7. 1	▲ 4. 0	▲ 18. 6	▲ 14. 6	60. 0	▲ 9. 3
R 06. 02 (n=83)	▲ 30. 1	(▲ 19. 4)	▲ 40. 0	▲ 21. 7	▲ 19. 2	▲ 24. 1	38. 6	▲ 14. 5
R 06. 05 (n=82)	▲ 29. 3	(0. 8)	▲ 39. 8	▲ 24. 4	▲ 36. 6	▲ 34. 2	34. 1	▲ 9. 7
前回調査比	-	-	-	(▲ 2. 7)	(▲ 17. 4)	(▲ 10. 1)	(▲ 4. 5)	(4. 8)
先行き見通し	▲ 22. 0	-	-	▲ 30. 5	▲ 34. 1	▲ 23. 1	41. 5	▲ 20. 8
今回調査比	(7. 3)	-	-	(▲ 6. 1)	(2. 5)	(11. 1)	(7. 4)	(▲ 11. 1)

業界の声

Q. 今期の業況について

- 市内の水道工事着工届が前年比 35%減少している。資材価格の高騰から住宅関連施設の新規着工が減少しているのが原因と考えられる。公共工事も少なく業界全体としても落ち込みが激しい。
(村山南)
- 公共工事の発注が少ないが、民間工事も少ない。人件費の高騰、資材や運搬費の値上がりでなかなか厳しい。(村山北)
- 冬季除雪がほとんどなく、4 月以降の公共工事の発注が例年より少ないため、業況はかなり厳しい。
(最上)
- 材料の価格高騰が続いているため、前年と同じような工事内容でも見積額が上がってしまったり、利益幅が減ってしまう傾向にある。(置賜)
- 物価上昇により、仕入価格も高騰しており、その影響で利益率が低下しているため、厳しい経営環境下にある。(庄内田川)
- 洋上風力事業に伴う新規港湾工事が開始されることから、港湾関係会社の受注は安定すると思われるが、高規格道路工事が終了に近づき、地域全体での工事量は減少すると考える。
(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

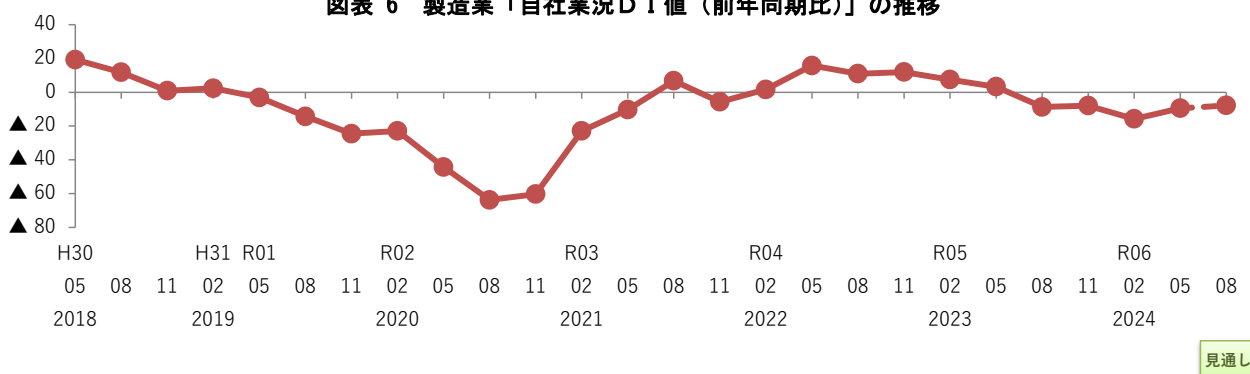
- 来期は今以上に住宅新築物件が減少すると予想しているので、住宅に特化した施策を見直している。
(村山南)
- 県内でも地域によって仕事量のばらつきがある。営業範囲を拡大するなどの検討も必要である。
(村山北)
- 人材確保（特に若年労働者）のための賃上げ、休暇の拡充などに取り組む。(最上)
- 大型物件、新規の物件がなく、来期も厳しい状況の見通しである。(置賜)
- 安定した利益を獲得することが難しい。(庄内田川)
- 令和 6 年からの港湾予算増のため、数年は売り上げ・利益の見通しが明るい。(庄内飽海)
- 人員の確保が課題であり、継続して取り組みたい。(庄内飽海)

② 製造業

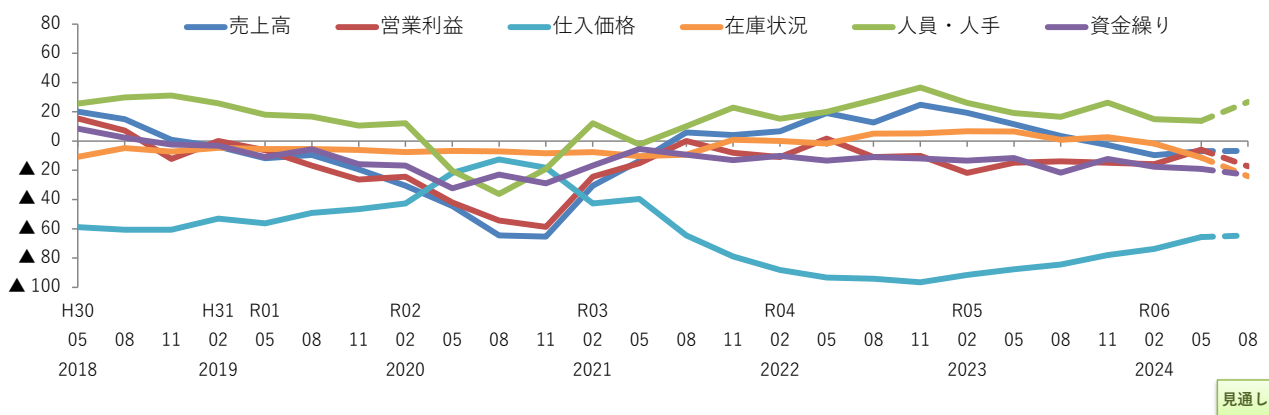
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲9.5（前回調査比 6.3 ポイント上昇）と前期の後退から改善の動きとなった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「仕入価格」は改善、「在庫状況」と「資金繰り」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。各社のコメントから、円安によって特に輸入原料の高止まりが大きな負担となっており、利益圧迫が続いている状況がうかがえた。また、生産は好調ながら、人員不足によって受注機会の損失が発生しているケースもみられ、複数の企業が人手の確保を課題として挙げている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.8（今回調査比 1.7 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 05. 05 (n=121)	3.3	(▲ 4.2)	▲ 18.5	11.6	▲ 14.8	▲ 87.6	6.6	19.1	▲ 11.6
R 05. 08 (n=115)	▲ 8.7	(▲ 12.0)	▲ 8.2	3.5	▲ 13.9	▲ 84.4	0.9	16.6	▲ 21.7
R 05. 11 (n=114)	▲ 7.9	(0.8)	▲ 12.2	▲ 2.7	▲ 14.9	▲ 78.0	2.6	26.3	▲ 12.3
R 06. 02 (n=114)	▲ 15.8	(▲ 7.9)	▲ 7.9	▲ 9.7	▲ 15.8	▲ 73.7	▲ 1.8	14.9	▲ 17.6
R 06. 05 (n=116)	▲ 9.5	(6.3)	▲ 7.1	▲ 6.9	▲ 6.0	▲ 65.6	▲ 11.2	13.8	▲ 19.0
前回調査比	-	-	-	(2.8)	(9.8)	(8.1)	(▲ 9.4)	(▲ 1.1)	(▲ 1.4)
先行き見通し	▲ 7.8	-	-	▲ 6.8	▲ 17.3	▲ 64.6	▲ 24.1	26.7	▲ 23.3
今回調査比	(1.7)	-	-	(0.1)	(▲ 11.3)	(1.0)	(▲ 12.9)	(12.9)	(▲ 4.3)

Q. 今期の業況について

業界の声

- 原材料高騰分の価格転嫁が追いついていない。(村山南)
- 輸入原料高騰により、さらに国内回帰が進んでいるが、国内サプライヤーが人手不足となり、需給バランスが崩れている。(村山北)
- 円安が加速しているため、全体的に買い控え傾向が強い。(最上)
- 電子部品価格の値上がりが続いている。為替や銅の値上がりによる価格上昇が顕著である。(置賜)
- 円安が進む中、資材燃料費の高騰が続き、収益を圧迫している。半導体や電線不足もあり、自動車、電機メーカー、ともに生産を後ろ倒ししている。そのため、各企業とも売り上げが低迷している。(置賜)
- 物流業界の 2024 年問題による先行き不透明感から、運送会社のトラック買い控えが起きている。(庄内田川)
- 円安の影響で国内に仕事が回ってきていると思うが、最低賃金の上昇や資材の高騰などに工賃が追いついておらず、売り上げが伸びない。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

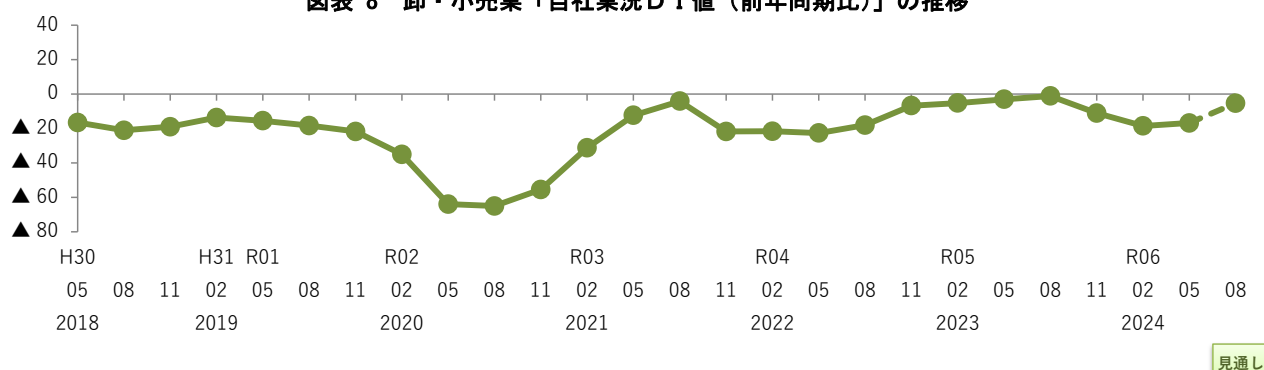
- 新商品の開発、パッケージのリニューアル、商品の絞り込みを実施していく。(村山南)
- 好調な生産に対して人員不足が顕著である。人材派遣の増員でしのいでいるが、派遣社員の確保も困難になっており、労働力(特に現場オペレーター)の確保が課題である。(村山北)
- 昨年から製造販売を開始している「冷凍惣菜類」が堅調である。競合他社も増えていることから、しっかりとした商品開発・品質管理に取り組んでいく。(最上)
- 生産調整がいつまで続くか、見通しが立っていない状況である。また、部材の値上がりについても落ち着く気配がなく、今後も値上がりが続くと思われる。(置賜)
- 人材確保が最重要課題であり、ハローワーク、紹介派遣への働きかけとホームページの更新を進めている。(庄内田川)
- 人員減に加え、時間外労働の規制があるなかで、納期によっては受注できない案件も出てくる見込みである。(庄内飽海)

③ 卸・小売業

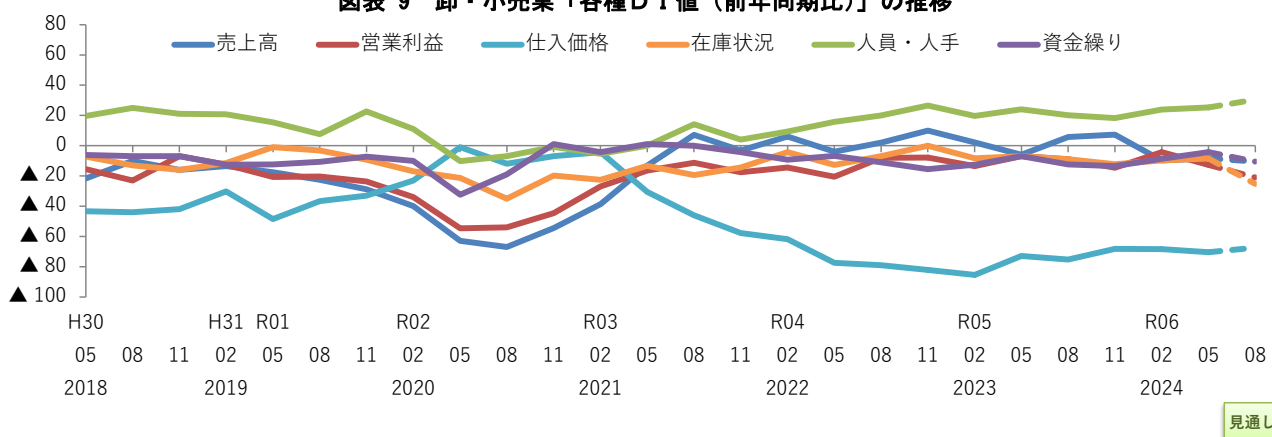
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲16.8（前回調査比 1.7 ポイント上昇）と 3 期ぶりに改善となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「営業利益」と「仕入価格」は悪化、「売上高」「在庫状況」「資金繰り」は改善となり、「人員・人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントによると、文具や書籍販売などの小売業で買い控えが進んでいる状況がうかがえる。また、暖冬の影響を受けて、灯油や除雪機の販売において売上の減少がみられた。一方で、節約意識の高まりによる内食需要の増加を背景に、酒類卸売業などで一回の購入金額は減少しているものの、客数は改善傾向にあるとするコメントも寄せられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲5.3（今回調査比 11.5 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 05.05 (n=100)	▲ 3.0	(2.2)	▲ 20.8	▲ 6.0	▲ 7.0	▲ 73.0	▲ 7.0	24.0	▲ 7.0
R 05.08 (n=89)	▲ 1.1	(1.9)	▲ 1.0	5.7	▲ 9.0	▲ 75.3	▲ 9.0	20.2	▲ 12.4
R 05.11 (n=82)	▲ 11.0	(▲ 9.9)	▲ 7.9	7.3	▲ 14.6	▲ 68.3	▲ 12.2	18.3	▲ 13.5
R 06.02 (n=92)	▲ 18.5	(▲ 7.5)	▲ 7.3	▲ 9.8	▲ 4.3	▲ 68.4	▲ 9.8	23.9	▲ 8.7
R 06.05 (n=95)	▲ 16.8	(1.7)	▲ 15.2	▲ 8.4	▲ 12.7	▲ 70.5	▲ 8.5	25.3	▲ 4.2
前回調査比	-	-	-	(1.4)	(▲ 8.4)	(▲ 2.1)	(1.3)	(1.4)	(4.5)
先行き見通し	▲ 5.3	-	-	▲ 10.5	▲ 21.0	▲ 67.4	▲ 25.3	30.5	▲ 10.5
今回調査比	(11.5)	-	-	(▲ 2.1)	(▲ 8.3)	(3.1)	(▲ 16.8)	(5.2)	(▲ 6.3)

Q. 今期の業況について

業界の声

- 賃上げは進んでいるものの、物価の上昇に追いついていないため、生活必需品以外の嗜好品にかける予算が少なくなっており、売り上げ減につながっている。この状況は今後も続く。(村山南)
- 住宅着工の低下により売り上げが下がっている。円安に起因する原材料の仕入価格上昇によって利益が低下している。(村山北)
- 円安のため、メーカー仕入価格がどんどん上がっていった。お客さまが商品を手にとっても、なかなか購入されないことが多くなった。(置賜)
- コロナ禍前には完全に戻っていないが、売り上げは大幅伸びている。ただ値上げラッシュがとどまらず、常に売価とのバランスを見ている。(庄内田川)
- 輸入商品の入荷状況が不安定である。配送コストや条件が年々厳しくなり、販売に影響が出ている。(庄内田川)
- 原油高円安のため、石油製品価格が高止まりで節約志向が強い。ハイブリッド車の増加によりガソリン販売が苦戦している。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

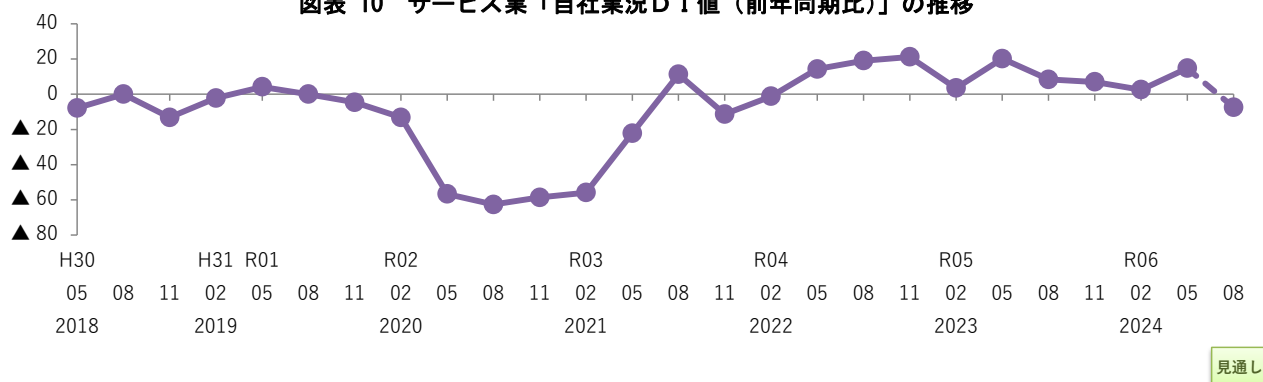
- 前年からの大変厳しい状況が続いている。来期もこの状況が続くと思われる。(村山南)
- 売上高、利益が減少傾向にあるなかで、新規の得意先確保を重要課題として取り組んでいきたい。(村山南)
- 人手不足に対応した登録パートナーを増やしてゆく。(村山北)
- 商品単価が上がっているため、買い控えが心配である。(最上)
- 店舗の効率化、配置転換を行いたい。稼働していない在庫を減らし、回転率を上げていきたい。(置賜)
- 既存の従業員のベースアップを行い、労働環境の改善にも積極的に取り組んでいる。そのため、以前よりも良い条件で求人を出すことができるので、今後人員を確保し次第、臨時休業等の解消を進めていく。(庄内田川)
- 顧客単価を上げるために、新しい業態に取り組んでいる。(庄内飽海)

④ サービス業

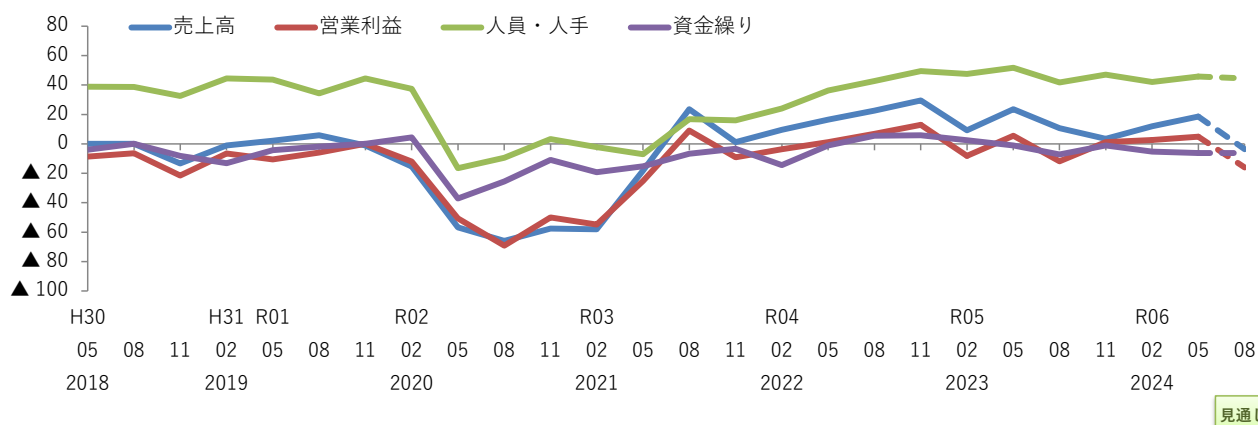
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 14.8（前回調査比 12.2 ポイント上昇）と 4 期ぶりの改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」と「営業利益」は改善、「資金繰り」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントから、宿泊業では国内旅行需要の増加に伴い好調な動きがうかがえた一方、警備業や産業廃棄物処分業などでは公共工事、民間工事の減少による業況低迷がみられた。また、人材の定着・確保のために賃上げを進めているが、人件費の上昇が負担となっているとする内容が複数社から寄せられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.4（今回調査比 22.2 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 05.05 (n=89)	20.2	(16.7)	0.0	23.6	5.6	51.7	▲ 1.1
R 05.08 (n=84)	8.4	(▲ 11.8)	6.8	10.7	▲ 11.9	41.7	▲ 7.2
R 05.11 (n=85)	7.0	(▲ 1.4)	3.6	3.5	1.2	47.0	▲ 1.1
R 06.02 (n=76)	2.6	(▲ 4.4)	▲ 2.4	11.9	2.7	42.1	▲ 5.3
R 06.05 (n=81)	14.8	(12.2)	▲ 1.3	18.5	4.9	45.7	▲ 6.2
前回調査比	-	-	-	(6.6)	(2.2)	(3.6)	(▲ 0.9)
先行き見通し	▲ 7.4	-	-	▲ 3.7	▲ 16.1	44.4	▲ 6.2
今回調査比	(▲ 22.2)	-	-	(▲ 22.2)	(▲ 21.0)	(▲ 1.3)	(0.0)

Q. 今期の業況について

業界の声

- 飲食関係は、食材費と光熱費の高騰により利益を出すのが非常に大変になっている。(村山南)
- インバウンド並びに国内旅行需要も旺盛で航空利用客は増えつつあり、好転しているとみられる。(村山北)
- 賃上げにより技術者単価は上昇しているが、全体の事業予算が数年間横ばいのため、ロット数が減少している。業者数は変わらないため、競争が激化する恐れがある。(村山北)
- 物価上昇や燃料費の高騰の影響は大きい。(最上)
- 技術系職員の人材確保に苦慮している。(庄内田川)
- 海外からのお客さまも少しずつ増加している。また、物価の方は天気によって左右され、特に野菜類、魚介類は変動がある。(庄内田川)
- 人手不足による販売制限や原材料等コスト上昇によって経営環境は厳しい。(庄内飽海)
- 主要得意先のエレクトロニクス市場の低迷により、設備投資が減少している。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

- 仕入強化、販売強化、各方面とのリレーション強化を図っており、増収増益を見込む。(村山南)
- 運賃の値上げ効果が顕在化してくることで、収益が改善されていく予定である。(村山南)
- 人員補充に取り組み、設備投資を進めていきたい。(村山北)
- 生産性向上と人材育成、新規採用に取り組む。(村山北)
- 円安の影響で、国内旅行がしばらくは上向きになると思うが、いつまで続くかはわからない。(置賜)
- 課題としては人材の確保が最も大きく、広告や車両のラッピングなど会社を認知していただく活動を進めている。併せて現在整備場と自動洗車機を備えた洗車場を建設中であり、ドライバー社員の労働環境改善を進めている。(庄内田川)
- 休日を増やし待遇改善を図った人員確保が直近の課題である。社員の平均年齢が上がってくるが、若者の人員確保が難しい。(庄内飽海)
- IT を活用して人員不足を緩和できないか検討中である。(庄内飽海)

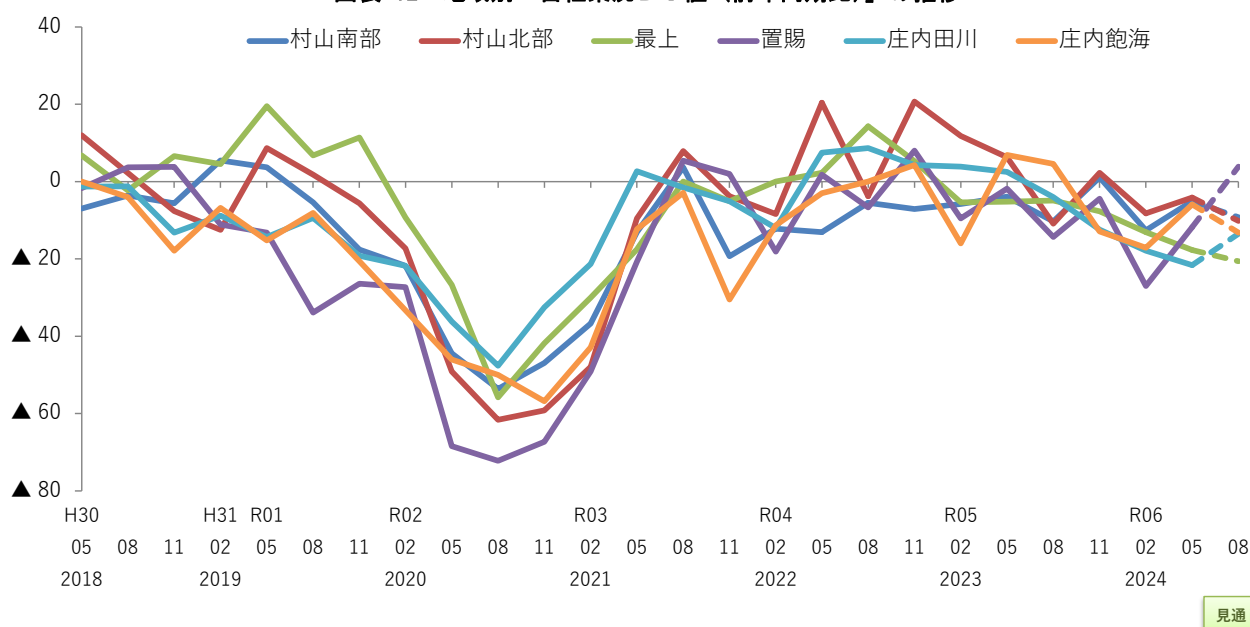
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲5.1（前回調査比 7.5 ポイント上昇）、村山北部が▲4.1（前回調査比 4.1 ポイント上昇）、最上が▲17.7（前回調査比 4.6 ポイント下落）、置賜が▲11.8（前回調査比 15.2 ポイント上昇）、庄内田川が▲21.6（前回調査比 3.7 ポイント下落）、庄内飽海が▲5.9（前回調査比 11.2 ポイント上昇）と、村山南部、村山北部、置賜、庄内飽海で改善、最上と庄内田川で悪化となった。

業況の先行き見通しをみると、置賜と庄内田川で改善が見込まれているものの、その他の4地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

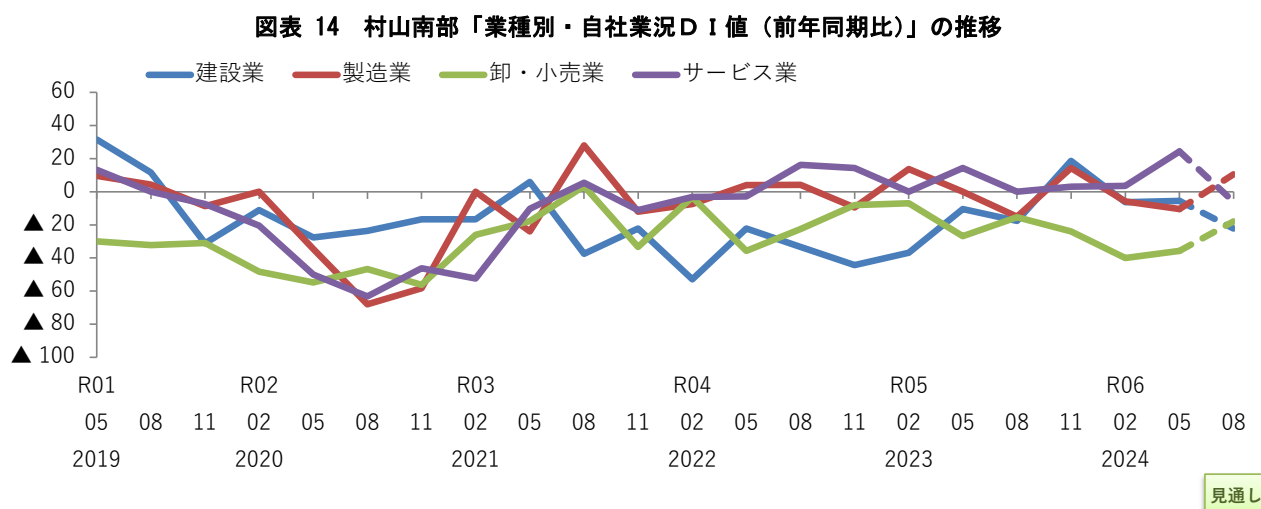
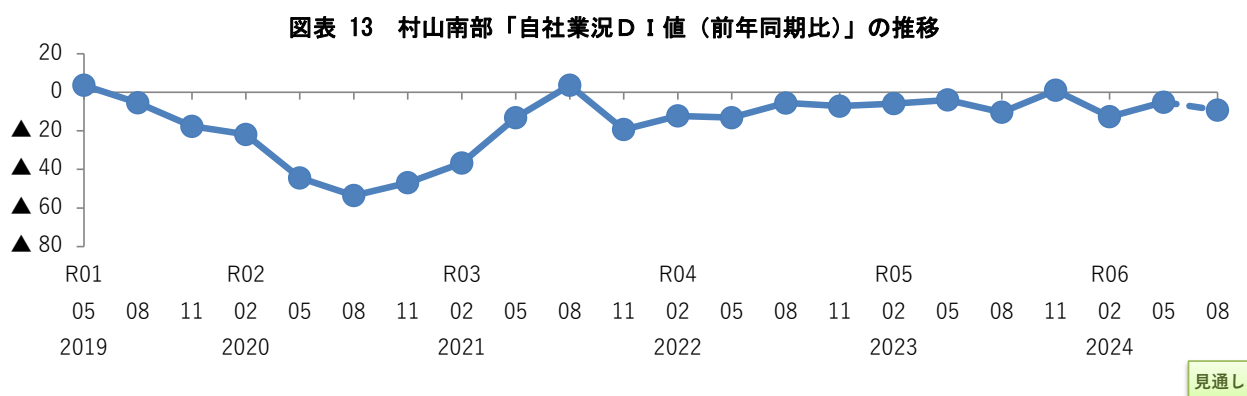
地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 05.05 (n=396)	0.8	▲ 3.9	6.3	▲ 5.2	▲ 1.8	2.5	6.9
R 05.08 (n=373)	▲ 6.4	▲ 10.3	▲ 10.9	▲ 4.9	▲ 14.3	▲ 4.0	4.6
R 05.11 (n=356)	▲ 5.6	1.1	2.3	▲ 7.7	▲ 4.4	▲ 12.4	▲ 12.9
R 06.02 (n=365)	▲ 15.9	▲ 12.6	▲ 8.2	▲ 13.1	▲ 27.0	▲ 17.9	▲ 17.1
R 06.05 (n=374)	▲ 10.5	▲ 5.1	▲ 4.1	▲ 17.7	▲ 11.8	▲ 21.6	▲ 5.9
前回調査比	(5.4)	(7.5)	(4.1)	(▲ 4.6)	(15.2)	(▲ 3.7)	(11.2)
先行き見通し	▲ 10.2	▲ 9.2	▲ 10.2	▲ 20.6	3.9	▲ 13.5	▲ 13.2
今回調査比	(0.3)	(▲ 4.1)	(▲ 6.1)	(▲ 2.9)	(15.7)	(8.1)	(▲ 7.3)

(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.1（前回調査比 7.5 ポイント上昇）と前期の後退から改善の動きとなった。業種別にみると、製造業は悪化、その他の 3 業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.2（今回調査比 4.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。



前年同期比の自社業況 D I 値

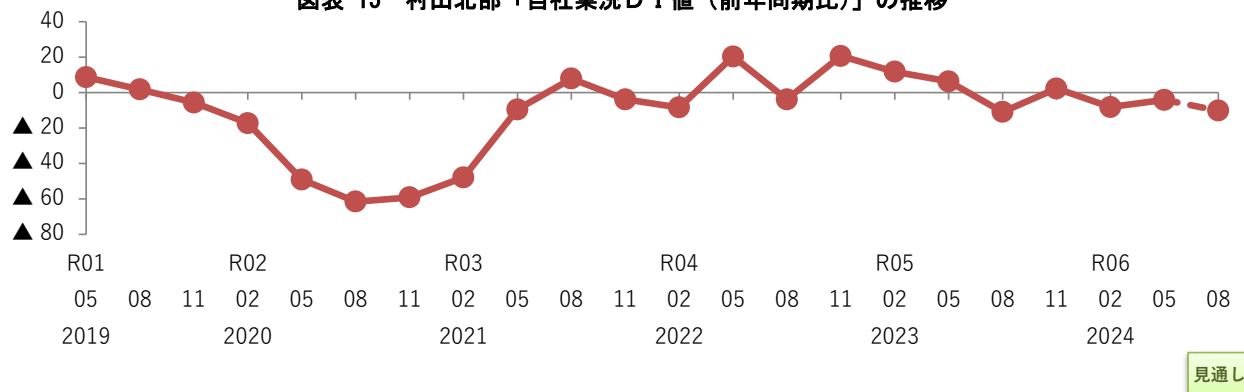
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 05 (n=103)	▲ 3. 9	(1. 9)	▲ 21. 1	▲ 10. 5	0. 0	▲ 26. 9	14. 3
R 05. 08 (n=97)	▲ 10. 3	(▲ 6. 4)	▲ 4. 9	▲ 17. 6	▲ 15. 0	▲ 15. 4	0. 0
R 05. 11 (n=94)	1. 1	(11. 4)	▲ 10. 3	18. 7	14. 3	▲ 24. 0	3. 1
R 06. 02 (n=87)	▲ 12. 6	(▲ 13. 7)	▲ 11. 7	▲ 6. 3	▲ 5. 9	▲ 40. 0	3. 5
R 06. 05 (n=98)	▲ 5. 1	(7. 5)	▲ 11. 5	▲ 5. 5	▲ 10. 5	▲ 35. 8	24. 3
前回調査比	-	-	-	(0. 8)	(▲ 4. 6)	(4. 2)	(20. 8)
先行き見通し	▲ 9. 2	-	-	▲ 22. 2	10. 6	▲ 17. 9	▲ 6. 0
今回調査比	(▲ 4. 1)	-	-	(▲ 16. 7)	(21. 1)	(17. 9)	(▲ 30. 3)

② 村山北部

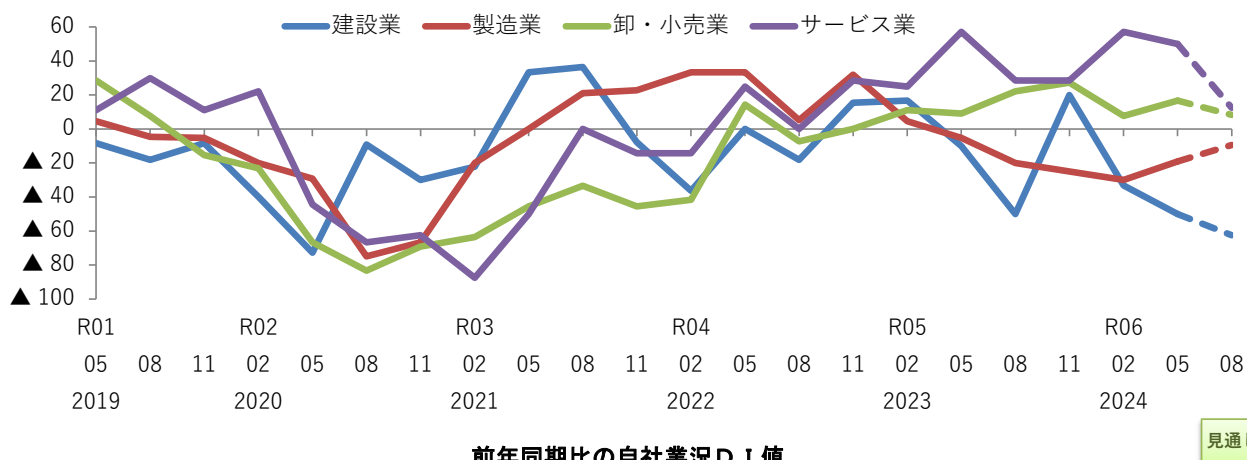
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲4.1（前回調査比 4.1 ポイント上昇）と前期の後退から改善の動きとなった。業種別にみると、製造業と卸・小売業で改善となった一方、建設業とサービス業は悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲10.2（今回調査比 6.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

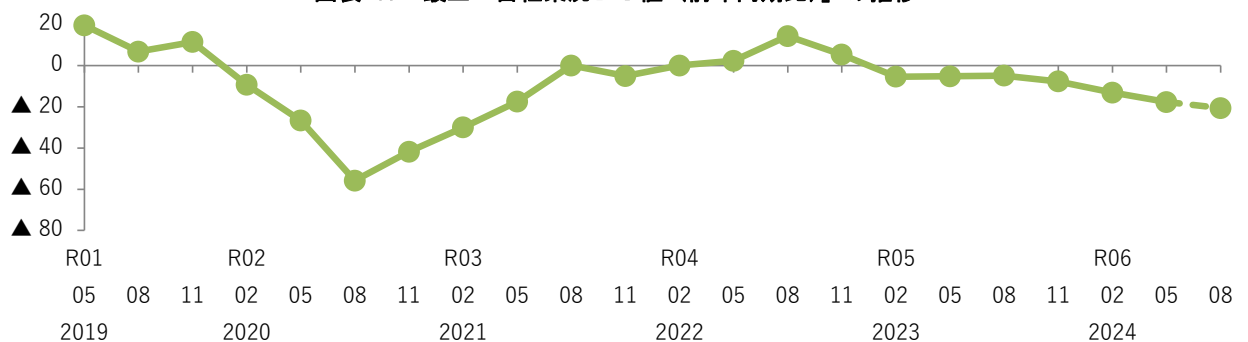
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05.05 (n=47)	6.3	(▲ 5.5)	▲ 9.8	▲ 10.0	▲ 5.2	9.1	57.1
R 05.08 (n=46)	▲ 10.9	(▲ 17.2)	▲ 6.4	▲ 50.0	▲ 20.0	22.2	28.6
R 05.11 (n=43)	2.3	(13.2)	▲ 2.2	20.0	▲ 25.0	27.3	28.6
R 06.02 (n=49)	▲ 8.2	(▲ 10.5)	▲ 9.3	▲ 33.3	▲ 30.0	7.7	57.1
R 06.05 (n=49)	▲ 4.1	(4.1)	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 19.1	16.7	50.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 16.7)	(10.9)	(9.0)	(▲ 7.1)
先行き見通し	▲ 10.2	-	-	▲ 62.5	▲ 9.5	8.3	12.5
今回調査比	(▲ 6.1)	-	-	(▲ 12.5)	(9.6)	(▲ 8.4)	(▲ 37.5)

③ 最 上

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲17.7（前回調査比 4.6 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となった。
業種別にみると、建設業は悪化、製造業とサービス業は改善、卸・小売業は横ばいとなっている。

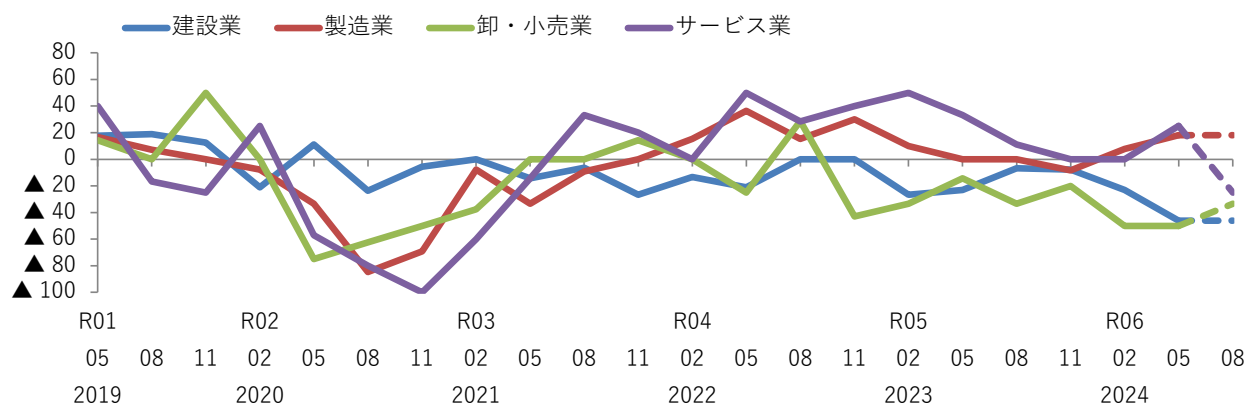
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.6（今回調査比 2.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

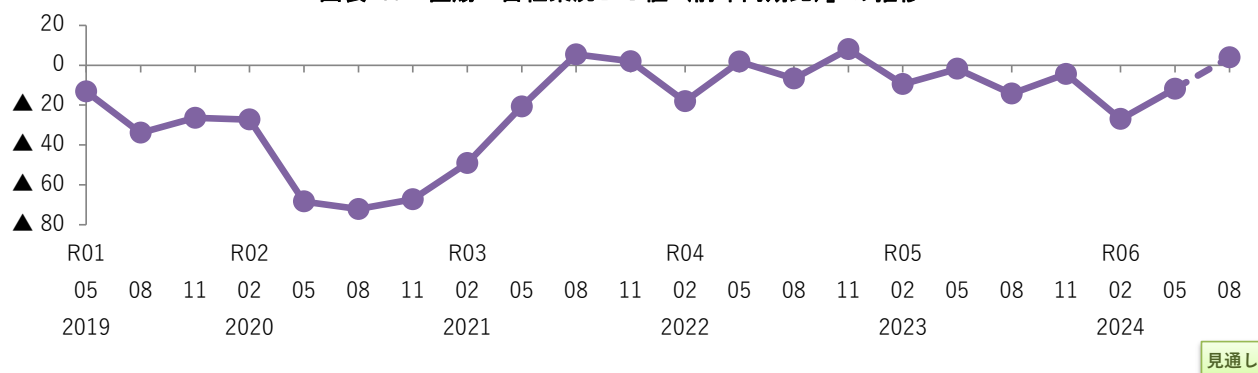
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 05. 05 (n=39)	▲ 5. 2	(0. 2)	▲ 27. 0	▲ 23. 1	0. 0	▲ 14. 3	33. 3
R 05. 08 (n=41)	▲ 4. 9	(0. 3)	▲ 15. 4	▲ 6. 7	0. 0	▲ 33. 3	11. 1
R 05. 11 (n=39)	▲ 7. 7	(▲ 2. 8)	▲ 7. 4	▲ 7. 7	▲ 8. 4	▲ 20. 0	0. 0
R 06. 02 (n=38)	▲ 13. 1	(▲ 5. 4)	▲ 15. 4	▲ 23. 1	7. 7	▲ 50. 0	0. 0
R 06. 05 (n=34)	▲ 17. 7	(▲ 4. 6)	▲ 21. 0	▲ 46. 2	18. 2	▲ 50. 0	25. 0
前回調査比	-	-	-	(▲ 23. 1)	(10. 5)	(0. 0)	(25. 0)
先行き見通し	▲ 20. 6	-	-	▲ 46. 2	18. 2	▲ 33. 3	▲ 25. 0
今回調査比	(▲ 2. 9)	-	-	(0. 0)	(0. 0)	(16. 7)	(▲ 50. 0)

④ 置 賜

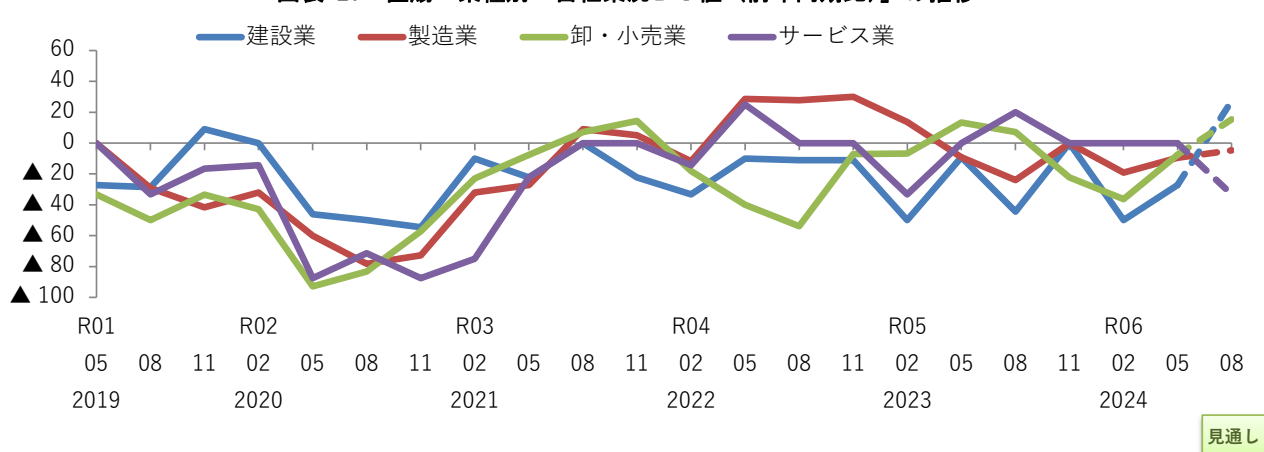
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲11.8（前回調査比 15.2 ポイント上昇）と前期の後退から改善の動きとなった。業種別にみると、サービス業は横ばい、その他の 3 業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 3.9（今回調査比 15.7 ポイント上昇）と大幅な改善が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

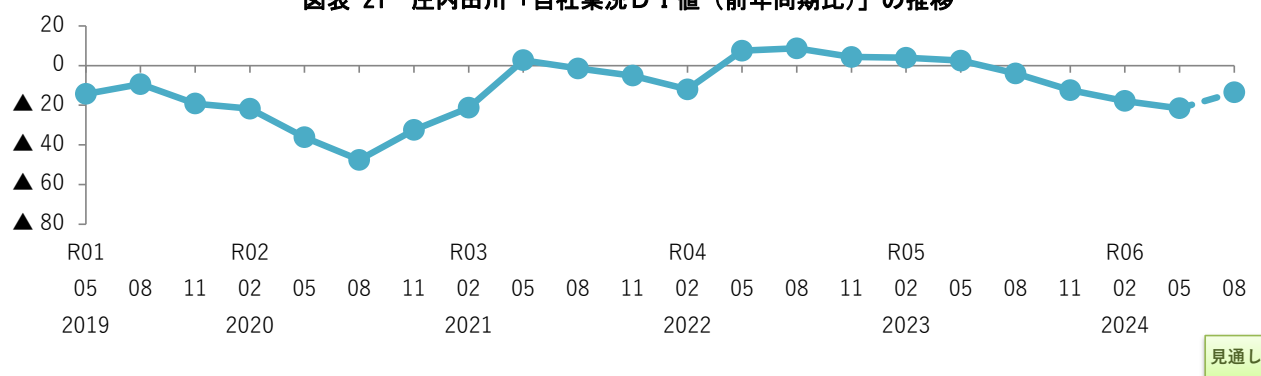
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 05. 05 (n=54)	▲ 1.8	(7.7)	▲ 26.4	▲ 9.1	▲ 9.1	13.3	0.0
R 05. 08 (n=49)	▲ 14.3	(▲ 12.5)	1.8	▲ 44.5	▲ 23.9	7.2	20.0
R 05. 11 (n=45)	▲ 4.4	(9.9)	▲ 12.3	0.0	0.0	▲ 22.2	0.0
R 06. 02 (n=48)	▲ 27.0	(▲ 22.6)	▲ 26.7	▲ 50.0	▲ 19.1	▲ 36.3	0.0
R 06. 05 (n=51)	▲ 11.8	(15.2)	▲ 16.7	▲ 27.3	▲ 9.5	▲ 7.7	0.0
前回調査比	-	-	-	(22.7)	(9.6)	(28.6)	(0.0)
先行き見通し	3.9	-	-	27.3	▲ 4.7	15.4	▲ 33.3
今回調査比	(15.7)	-	-	(54.6)	(4.8)	(23.1)	(▲ 33.3)

⑤ 庄内田川

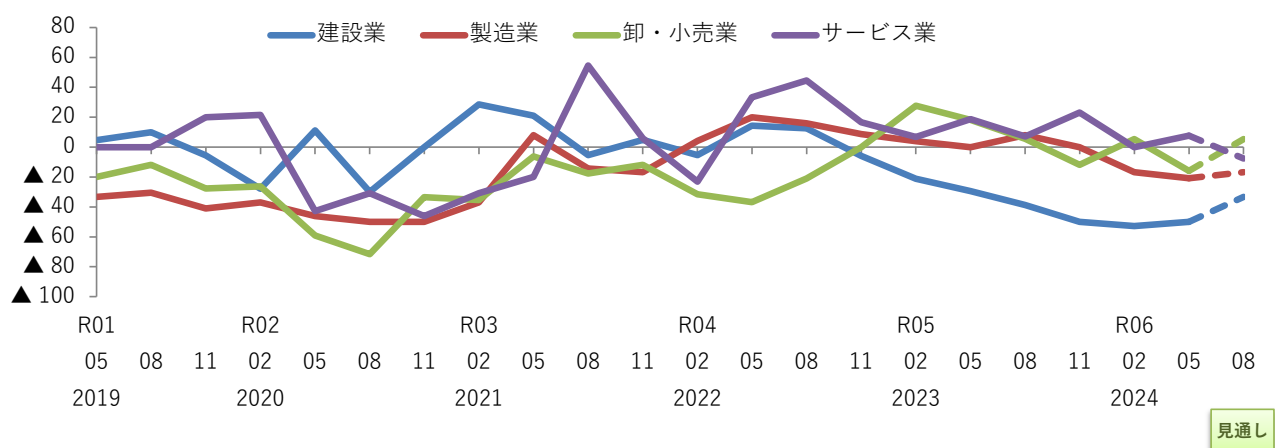
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲21.6（前回調査比 3.7 ポイント下落）と 7 期連続の悪化となった。業種別にみると、建設業とサービス業で改善となった一方、製造業と卸・小売業で悪化となり、卸・小売業は D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.5（今回調査 8.1 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

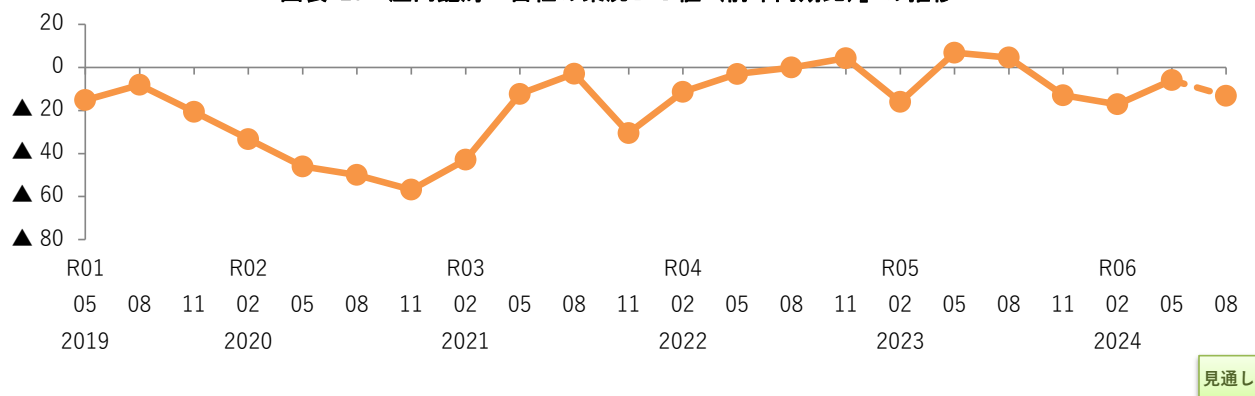
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 05 (n=81)	2.5	(▲ 1.4)	▲ 13.0	▲ 29.4	0.0	18.2	18.7
R 05. 08 (n=75)	▲ 4.0	(▲ 6.5)	▲ 6.2	▲ 38.8	8.0	5.6	7.1
R 05. 11 (n=73)	▲ 12.4	(▲ 8.4)	▲ 2.7	▲ 50.0	0.0	▲ 11.8	23.1
R 06. 02 (n=73)	▲ 17.9	(▲ 5.5)	▲ 8.2	▲ 52.7	▲ 16.7	5.3	0.0
R 06. 05 (n=74)	▲ 21.6	(▲ 3.7)	▲ 21.9	▲ 50.0	▲ 20.8	▲ 15.8	7.7
前回調査比	-	-	-	(2.7)	(▲ 4.1)	(▲ 21.1)	(7.7)
先行き見通し	▲ 13.5	-	-	▲ 33.3	▲ 16.7	5.3	▲ 7.7
今回調査比	(8.1)	-	-	(16.7)	(4.1)	(21.1)	(▲ 15.4)

⑥ 庄内飽海

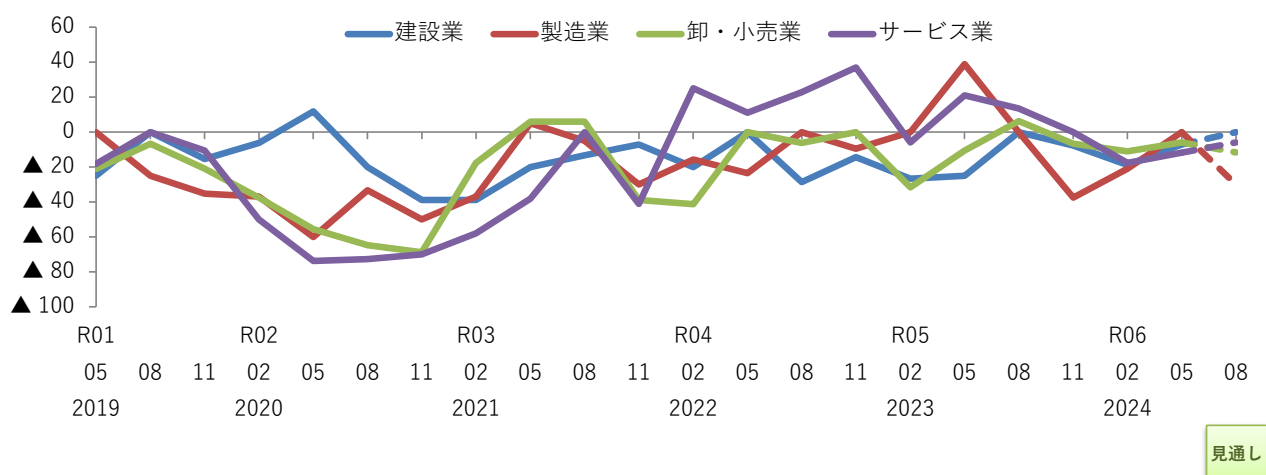
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.9（前回調査比 11.2 ポイント上昇）と 4 期ぶりの改善となった。
業種別にみると、すべての業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.2（今回調査比 7.3 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 05 (n=72)	6.9	(22.9)	▲ 20.3	▲ 25.0	38.9	▲ 10.6	21.0
R 05. 08 (n=65)	4.6	(▲ 2.3)	▲ 13.9	0.0	0.0	6.2	13.4
R 05. 11 (n=62)	▲ 12.9	(▲ 17.5)	▲ 3.1	▲ 7.7	▲ 37.5	▲ 6.7	0.0
R 06. 02 (n=70)	▲ 17.1	(▲ 4.2)	▲ 12.9	▲ 18.8	▲ 21.0	▲ 11.1	▲ 17.7
R 06. 05 (n=68)	▲ 5.9	(11.2)	▲ 10.0	▲ 7.1	0.0	▲ 5.9	▲ 11.8
前回調査比	-	-	-	(11.7)	(21.0)	(5.2)	(5.9)
先行き見通し	▲ 13.2	-	-	0.0	▲ 30.0	▲ 11.7	▲ 5.9
今回調査比	(▲ 7.3)	-	-	(7.1)	(▲ 30.0)	(▲ 5.8)	(5.9)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

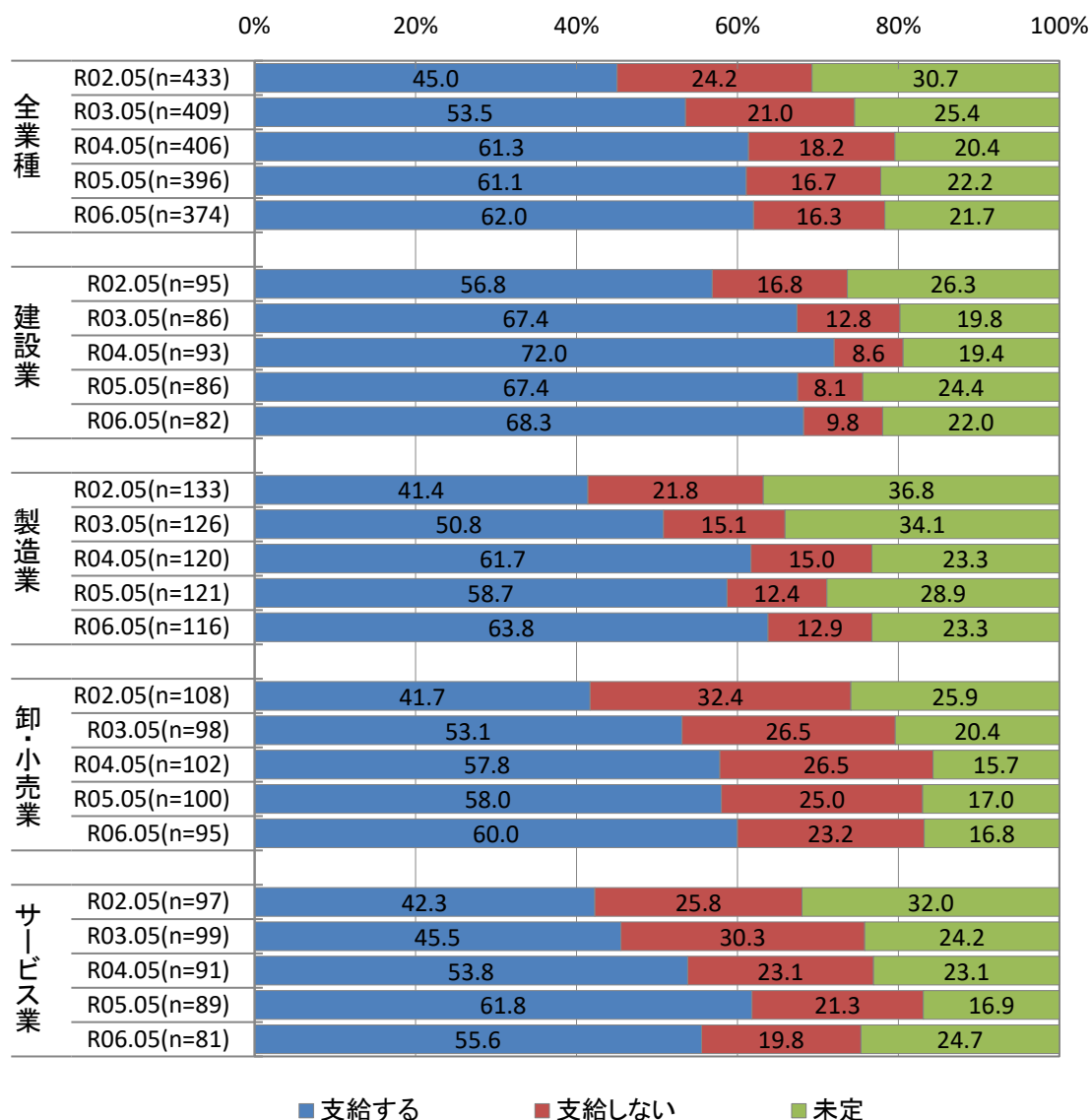
1. 夏季ボーナスについて

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種でみると「支給する」と回答した企業の割合は 62.0% と、前年に比べ 0.9 ポイント上昇し、引き続き 6 割を上回った。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 68.3%（前年比 0.9 ポイント上昇）、製造業が 63.8%（前年比 5.1 ポイント上昇）、卸・小売業が 60.0%（前年比 2.0 ポイント上昇）、サービス業が 55.6%（前年比 6.2 ポイント低下）となった。

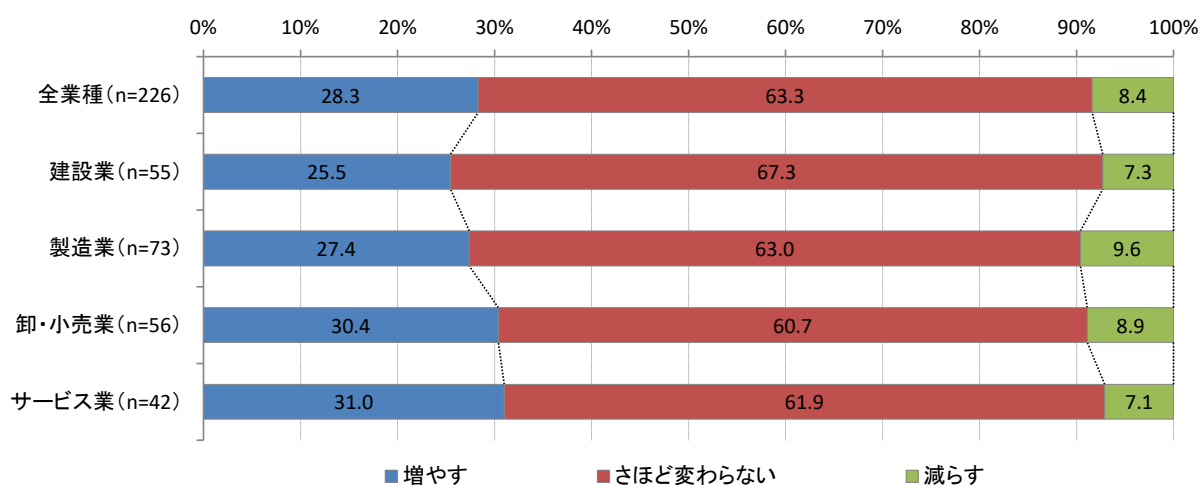
図表 25 業種別 夏季ボーナス支給動向の推移



今季「支給する」と回答した企業に対し、前年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業が 63.3%と最も多く、次いで「増やす」が 28.3%、「減らす」は 8.4%となった。

業種別にみても、すべての業種で「さほど変わらない」が最も多くなっており、「増やす」と回答した企業はサービス業が 31.0%と、最も高い割合となっている。

図表 26 業種別 夏季ボーナスを支給する企業の方針

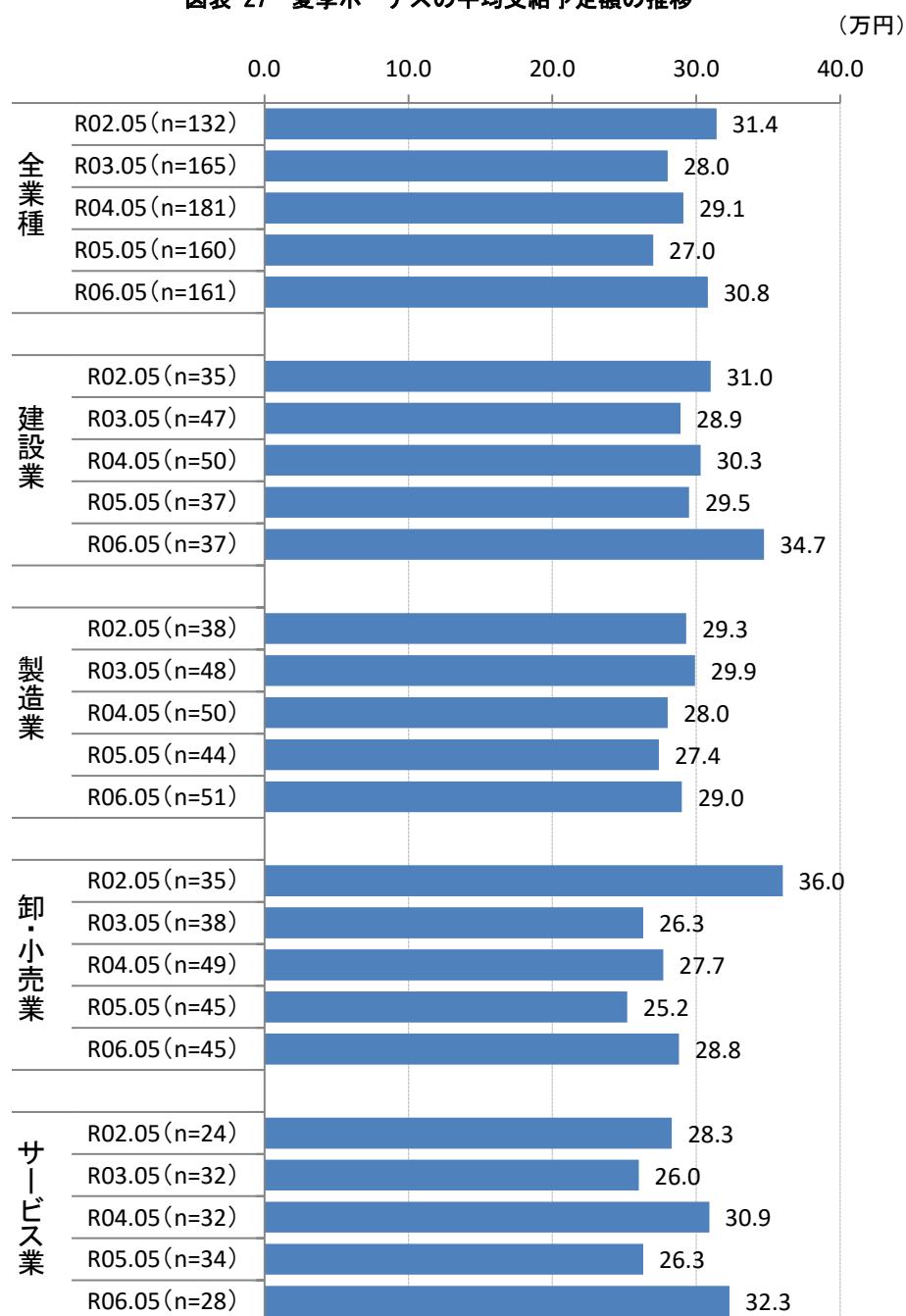


(2) 支給予定額

夏季ボーナスの支給予定額は、全業種平均で 30.8 万円となり、前年から増加となった。

業種別にみると、建設業で前年比 5.2 万円増加、製造業で 1.6 万円増加、卸・小売業で 3.6 万円増加、サービス業で 6.0 万円増加と、すべての業種で増加となった。

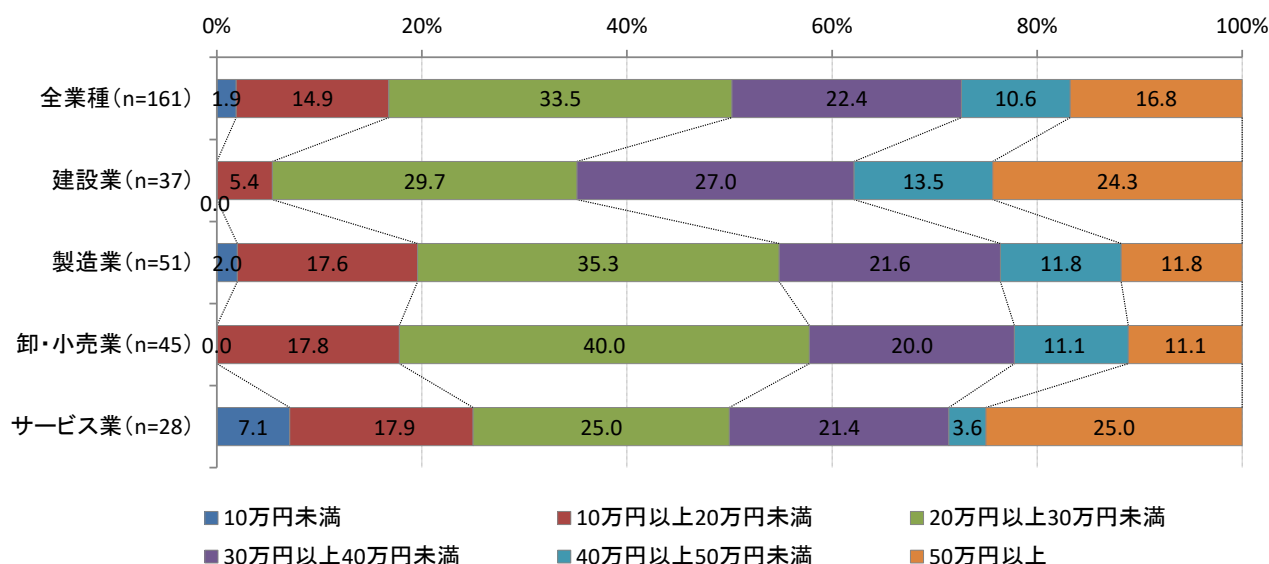
図表 27 夏季ボーナスの平均支給予定額の推移



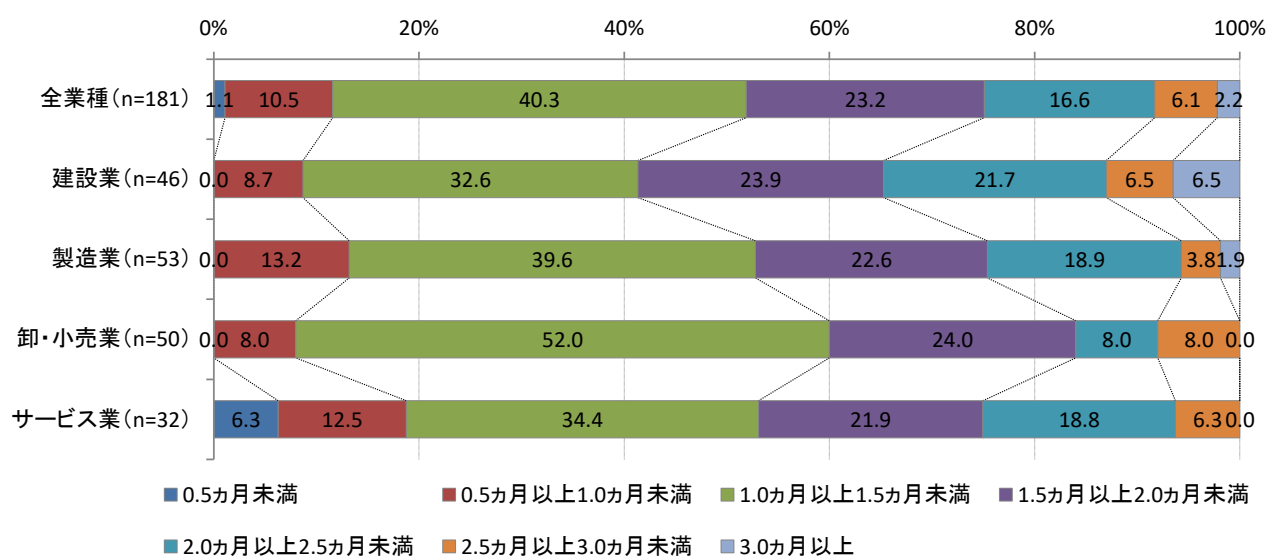
平均支給予定額は、全業種でみると「20 万円以上 30 万円未満」が最も多く、33.5%となっている。

平均支給予定月数は、全業種でみると「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が最も多く、40.3%となっている。

図表 28 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定額



図表 29 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定月数

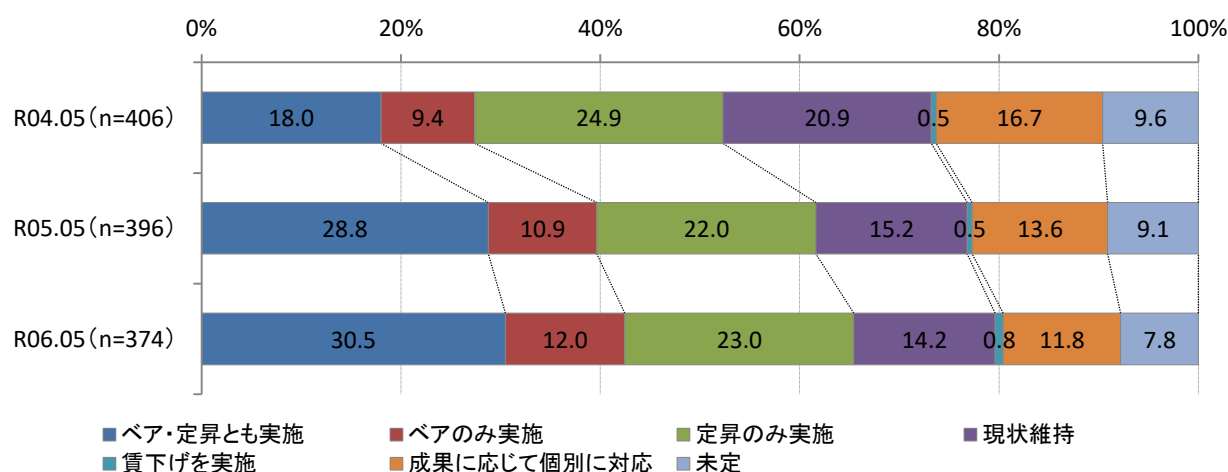


2. 春季以降の賃金改定動向について

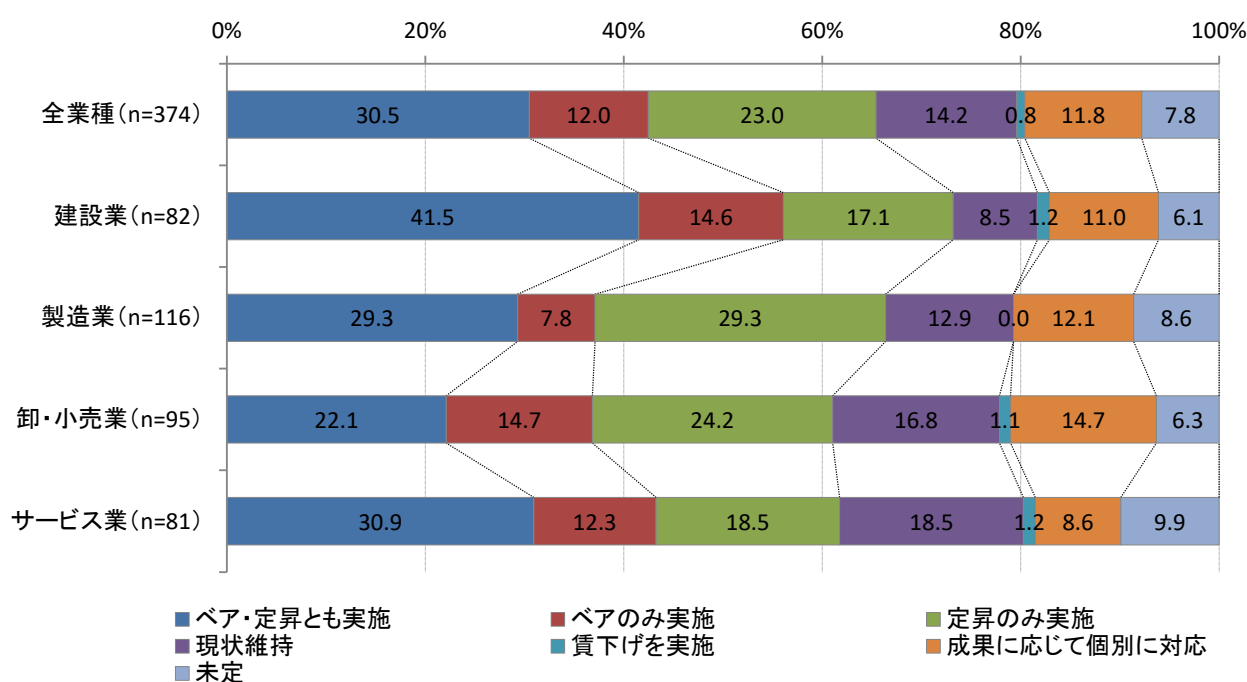
令和 6 年 4 月以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）を尋ねたところ、賃上げを実施する（した）企業の割合（「ベア・定昇とも実施」＋「ベアのみ実施」＋「定昇のみ実施」）は、全業種で 65.5%と前年に比べて 3.8 ポイント上昇し、引き続き 6 割台となった。

業種別にみると、賃上げを実施する（した）企業の割合は建設業が 73.2%と最も高く、以下は製造業（66.4%）、サービス業（61.7%）、卸・小売業（61.0%）の順となっている。

図表 30 全業種 賃金改定動向の推移



図表 31 業種別 賃金改定動向



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	33	41	50	146
村山北部	20	29	17	17	83
最 上	21	18	8	17	64
置 賜	23	27	24	11	85
庄内田川	29	37	27	27	120
庄内飽海	32	32	31	35	130
合 計	147	176	148	157	628

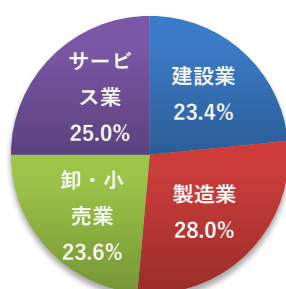
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	18	19	28	33	98
村山北部	8	21	12	8	49
最 上	13	11	6	4	34
置 賜	11	21	13	6	51
庄内田川	18	24	19	13	74
庄内飽海	14	20	17	17	68
合 計	82	116	95	81	374

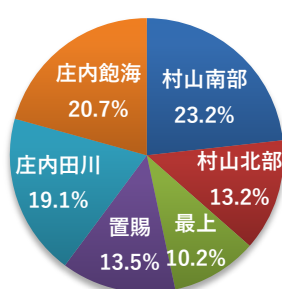
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	81.8	57.6	68.3	66.0	67.1
村山北部	40.0	72.4	70.6	47.1	59.0
最 上	61.9	61.1	75.0	23.5	53.1
置 賜	47.8	77.8	54.2	54.5	60.0
庄内田川	62.1	64.9	70.4	48.1	61.7
庄内飽海	43.8	62.5	54.8	48.6	52.3
合 計	55.8	65.9	64.2	51.6	59.6

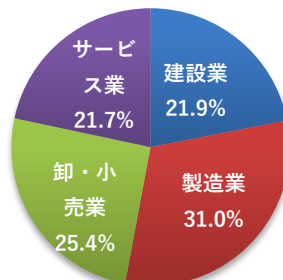
サンプル割合（業種別）



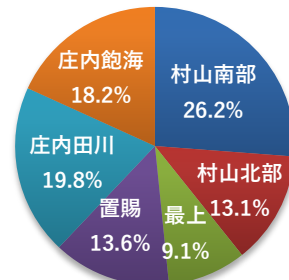
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 6 年 5 月 1 日(水)～15 日(水)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社 フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-2 1 荘銀山形ビル 8 F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>